

## 新設小学校の候補地について

① 新設小学校の規模（普通学級 6、特別支援学級 1）

⇒校舎（約 2,900 m<sup>2</sup>）、体育館（約 800 m<sup>2</sup>）、プールが必要

② スケジュール

H27 用地、H28 基本設計、H29 実施設計、H30・H31 建設、H32 移転

**1 案** 伊良湖岬中学校跡地（当初案）

**2 案** 渥美運動公園付近（要望書案）

用地取得 25,000 m<sup>2</sup>

（地権者約 20 人）

造成工事、校舎、体育館など建設

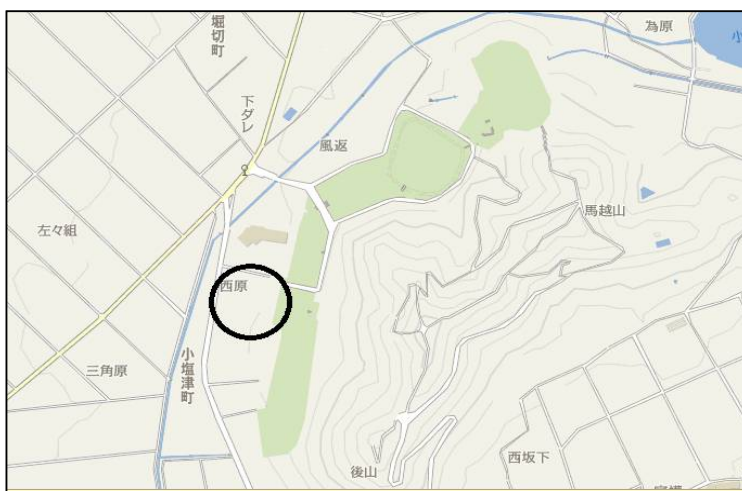
費用計 16.5 億円

メリット

- ① 中学校の動向によらず事業を進められる。
- ② 更地からの基本計画が可能。

デメリット

- ① 地権者が多く買収交渉、農振農転手続きに時間がかかる。
- ② 費用が多額となる。



**3 案** 岬中北拡張（修正案）

用地取得 10,000 m<sup>2</sup>

（地権者 2 人）

造成工事、校舎など建設（体育館は既設使用）

費用計 12.0 億円

メリット

- ① 中学校の動向によらず事業を進められる。
- ② 地権者が少なく迅速な用地取得が可能。
- ③ 費用が抑えられる。（土地代は 6 割減、体育館、運動場は中学と共用）
- ④ 小中連携の学校運営が可能。

デメリット

- ① 地元要望書の意向と異なる。

